

社会資本整備審議会 道路分科会 関東地方小委員会（平成22年度第2回）

議事概要

1. 日 時 平成23年1月 20日（木）10:00～12:00

2. 開 所 九段第3合同庁舎 11階 共用会議室4

3. 出席者

[委員長]

石田 東生 （筑波大学大学院システム情報工学研究科教授）

[委員]

石渡 恒夫 （社団法人 神奈川経済同友会代表幹事）

久保田 尚 （埼玉大学大学院理工学研究科教授）

小濱 哲 （横浜商科大学貿易・観光学科教授）

二村 真理子 （東京女子大学現代教養学部国際社会学科准教授）

味水 佑毅 （高崎経済大学地域政策学部観光政策学科准教授）

[関東地方整備局]

道路部長 石川 雄一

道路企画官 岩見 吉輝

4. 議 事

(1) 挨拶

・関東地方整備局 道路部長

(2) 審議

<委員からの主な意見等>

○資料1、資料2（中部横断自動車道（長坂～八千穂）の計画段階評価の試行）
について

- ・アンケートを実施する際に広域ネットワークの一部としての効果もあることを明示的に伝えるべき。
- ・ヒアリングで公共交通機関への影響を調査し、2回目のアンケート調査に反映すること。
- ・次回委員会までに交通事故の減少効果も算出しておくこと。
- ・意見聴取にあたっては、わかりやすい表現で意見聴取を行うよう配慮すること。

○資料3～7（H23 新規事業候補箇所の新規採択時評価）について

- ・事務局より説明のあった、3路線について、新規事業化は妥当である。
- ・新規事業化箇所の選定の考え方は、この考え方で固定ということではなく、柔軟に議論して改善していくべき。
- ・事業目的に応じた適切な手法により評価を行うことが重要であることから3便益による評価だけでなく、多様な評価手法についても今後工夫する必要があることを事業評価部会に本委員会の意見として諮るべき。

以上